

令和6年9月3日
烏山総合支所
駅周辺整備担当課

千歳烏山駅周辺の街づくりについて

1 主旨

千歳烏山駅周辺では、京王線連続立体交差事業や、駅前広場及び補助216号線の道路整備事業が進められている。区では、こうした街が大きく変わる機会を捉えて、駅周辺の街づくりを推進するため、住民とともに議論や意見交換を重ね、令和3年に千歳烏山駅周辺地区地区計画・地区街づくり計画（以下「地区計画等」という。）を策定し、実現に向けた取組みを進めている。

また、区も活動を支援し、住民主体のまちづくりが活発に行われており、駅周辺では、千歳烏山商店街連合会街づくり委員会（以下「街づくり委員会」という。）による活動などが進められ、千歳烏山駅前広場南側地区（以下「南側地区」という。）では、地権者による市街地再開発事業の取組みが進められている。

区では、更に魅力的で暮らしやすい「まち」をめざし、住民とともに街づくりを推進しており、取組み状況について報告する。

2 区域等



3 経緯

平成26年2月	京王線連立事業及び補助216号線並びに駅前広場の各事業認可
平成26年度	千歳烏山駅周辺地区街づくり構想策定
平成27年度	南側地区まちづくり勉強会設立
令和元年度	街づくり委員会設立
令和2年12月	南側地区まちづくり準備会設立 ※駅前広場を含む市街地再開発事業の検討開始
令和3年 6月	地区計画等の策定及び関連都市計画の変更
令和4年12月	南側地区市街地再開発準備組合（以下「再開発準備組合」という。）設立

4 街づくりの主な取組み

(1) 駅周辺地区

①街づくり委員会の取組み

街づくり委員会では、地域の特性を踏まえた、めざすまちの姿について検討が進められ、令和4年に「ちとから・まちづくりデザイン」が取りまとめられ、その実現に向けた取組みが進められている。区は、活動を支援するとともに、連携した取組みを行っている。

※参考資料

ちとから・まちづくりデザイン【参考資料1】

街づくり委員会ニュース（第1号、第2号）【参考資料2】

②区の取組み

区は、「地区計画等」でめざす街づくりの実現に向けた取組みを推進している。街づくりの情報発信として、ニュースの発行や烏山区民センターのデジタルサイネージを活用した発信を行うなど取組みへの理解促進を図っている。直近では「千歳烏山駅周辺地区まちづくりオープンハウス」を開催し、駅周辺の街づくりに係る、都市計画事業の内容、商店街および南側地区の取組み状況等について、パネル展示と区職員による説明を実施した。

・オープンハウス開催概要

日時：令和6年7月29日（月）から8月1日（木）

場所：烏山区民センター、来場者数：約485人（4日間合計）



オープンハウスの様子

(2) 南側地区

①再開発準備組合の取組み

南側地区では、地権者により、市街地再開発事業を活用した街づくりの検討が進められ、令和4年12月に再開発準備組合が設立された。その後、施設計画の検討や地権者を対象とした勉強会が開催されるなど、令和7年度の都市計画決定をめざした取組みが進められている。区は、活動を支援するとともに、都市計画に係る協議等を行っている。

- ・再開発準備組合加入率（令和6年6月現在【再開発準備組合集計】）

地権者数：69 者、加入者数：54 者、加入率：約 78.3%

※参考資料

再開発準備組合検討資料【参考資料3】

再開発準備組合ニュース（創刊号、最新号）【参考資料4】

②区と再開発準備組合の取組み

南側地区における再開発の検討・取組み状況や関連する都市計画の考え方等について、南側地区の周辺住民等を対象とした、街づくりの「報告会」を区と再開発準備組合で連携し、開催を予定している。

- ・報告会開催概要（予定）

日時：令和6年10月12日（土）、10月15日（火）

場所：烏山区民センター、対象：約7,000世帯

5 ちとからまちづくりフォーラム

駅周辺において、様々な主体によるまちづくりが展開している中で、あわせて、駅周辺における区民の利便性向上のため、公共施設の再編等も含めた行政・文化交流機能の充実など、主要な地域生活拠点として、より魅力的で暮らしやすい「まち」をめざした街づくりの取組みが重要となる。

そのため、区では、更なる参加と協働により「まち」の未来を考えていくことを目的として、駅周辺の住民やまちづくり団体等参加のもと、まちづくりの情報共有・意見交換等を行う場として、新たに「ちとからまちづくりフォーラム」を設置・運営し、街づくりを推進していく。

第1回の開催に向けて、企画段階から住民等との協働を図るため、まちづくり団体等参加のもと令和6年8月にキックオフ会議を開催し、各団体等の取組み状況を共有しながら、駅周辺街づくりの現状や課題、今後の進め方等について意見交換等を行った。

- ・第1回開催概要（予定）

日時：令和7年2月、場所：烏山区民センター

※資料

ちとからまちづくりフォーラム資料【資料1】

6 今後のスケジュール（予定）

令和6年10月 南側地区の街づくりに係る報告会

11月 都市整備常任委員会報告（南側地区の街づくりに係る報告会開催結果）

令和7年 2月 都市整備常任委員会報告（千歳烏山駅周辺の街づくり）

第1回ちとからまちづくりフォーラム

ちとから まちづくり フォーラム



テーマ

ちとからのこれから



まちづくりフォーラムの趣旨

千歳烏山駅周辺では、京王線連立事業をはじめとする都市計画事業が進められており、区は、街が大きく変化する機会を捉えて街づくりを推進している。

一方、住民主体のまちづくりが活発に行われており、駅前広場南側地区では、市街地再開発事業が検討されるなど、新たな取組みも進められている。また、駅周辺においては、総合支所・区民センターの狭隘化などの課題があり、区民の利便性向上のため、他の公共施設も含めた再編等、行政・文化交流機能の充実について、検討する必要がある。

こういった状況も踏まえ、駅周辺の住民やまちづくり団体等参加のもと、まちづくりの情報共有・意見交換等を行う場として「ちとからまちづくりフォーラム」を設置し、更なる参加と協働により「まち」の未来を考えていく。



まちづくりの概念図



全体イメージ

【趣旨概要】

千歳烏山駅周辺において、主要な地域生活拠点として、より魅力的で暮らしやすい「まち」をめざし、駅周辺の住民やまちづくり団体等参加のもと、まちづくりの情報共有・意見交換等を行う場として「ちとからまちづくりフォーラム」を設置し、まちづくりの進捗や取組み状況等を踏まえ、更なる参加と協働により「まち」の未来を考えていく。

将来イメージの共有

未来ビジョンの作成





ちとからまちづくりフォーラムの構成（想定）

目的

団体
構成

STEP

今年度
取組

京王電鉄

まちづくり団体

- ・からすやま地域の力を集める会
- ・烏山ネット・わぁ〜く・ショップ
- ・駅前広場南側地区市街地再開発準備組合
- ・ななつのこ
- ・まちづくりステーション など

商店街

- ・商店街連合会街づくり委員会 など

地域

- ・地域住民
- ・烏山上町会
- ・学校 など

専門家

- ・アドバイザー

世田谷区

- ・駅周辺整備担当課
- ・地域振興課 など





STEP 1 “つなぐ”まちづくり

目的

団体
構成

STEP

今年度
取組

区が「つなぎ役」となり、駅周辺の住民やまちづくり団体等に参加を促し、人を“つなぐ”まちづくりの進捗や取組み状況等を踏まえ「ちとからのこれから」の将来イメージを考える

STEP 1-1

お互いを知る

- ・ 駅周辺のまちづくりの概要
- ・ まちづくり団体等の取組み状況の共有

STEP 1-2

まちづくりの課題・期待を共有

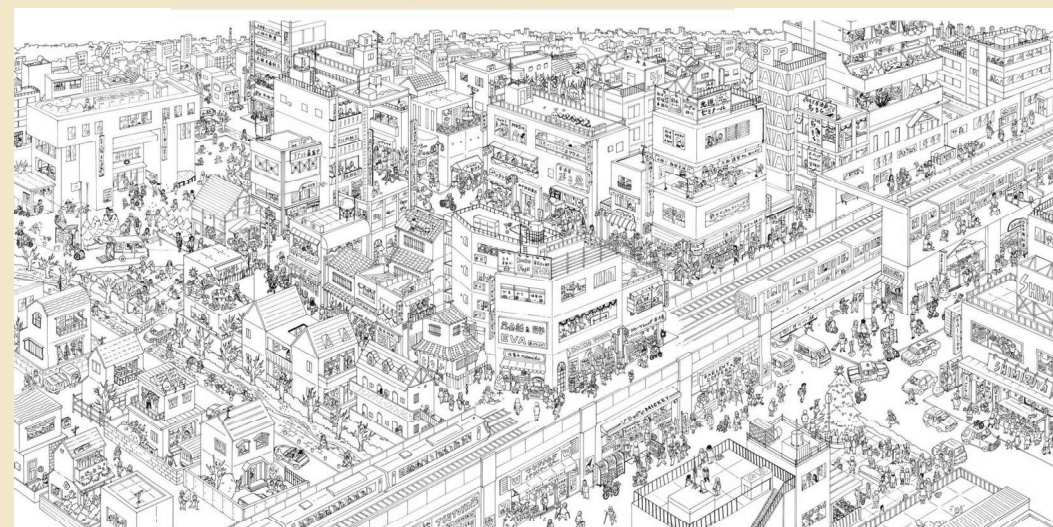
- | | |
|-------------|--------|
| ・ 駅周辺のまちづくり | 現状の課題 |
| ・ // | 将来の課題 |
| ・ // | 将来への期待 |

STEP 1-3

ちとからのこれからをイメージしよう

- ・ 将来への期待を形にしていくワークショップ
- ・ みんなの「ちとからのこれから」をイメージ
- ・ 「ちとからのこれから」将来イメージの作成・共有

「ちとからのこれから」将来イメージ



※参考資料「商店街の時間」（H17年度作成）



STEP 2 “つなげる”まちづくり

目的

団体
構成

STEP

今年度
取組

各まちづくり団体等の活動を“つなげる”ことで、できることから始める

「ちとからのこれから」を実現するための方針・プランを未来ビジョンとしてまとめる

STEP 2-1

まちづくりの方針を考える

イメージを実現するための方針の検討

STEP 2-2

アクションプランを考える

方針を実現するための具体的な方策の検討
持続可能なまちづくりのための運営体制の検討

STEP 2-3

未来ビジョンをつくる

まちづくりの方針・アクションプランの取りまとめ

「ちとからのこれから」未来ビジョン（イメージ）



まちづくりの概念図



※参考資料「しもたかブック」



STEP 3 “つながる”まちづくり

目的

団体
構成

STEP

今年度
取組

人、活動が“つながる”

「ちとからのこれから」の実現に向け、活動しながら更新していく

社会実験（イメージ）

STEP 3-1

持続可能なまちづくり活動

まちづくりフォーラムは情報共有・意見交換の場
事務局としてエリアマネジメント協議会等の設置を検討

STEP 3-2

手法検討（社会実験・都市再生整備計画等）

まちなかウォークブル推進事業
ほこみち

STEP 3-3

自主的なエリアマネジメント

エリアマネジメント協議会の支援
継続的なまちづくり活動



SANCHA STREET TERRACE（茶沢通り）



二子玉川水辺キッチンカープロジェクト



令和6年度の取組み

目的

団体
構成

STEP

今年度
取組

第1回の開催に向けて、企画段階から住民等との協働を図るため、まちづくり団体等参加のもとキックオフ会議を開催し、駅周辺のまちづくりの状況等を共有しながら、今後の進め方等について意見交換を行った。

① 令和6年8月

キックオフ



キックオフ（イメージ）

- ・千歳烏山駅周辺のまちづくりの状況について
- ・各団体等の取組み状況について
- ・意見交換等

② 令和7年2月（予定）

第1回



第1回（イメージ）

- ・千歳烏山駅周辺のまちづくりの状況について
- ・各団体等の取組み状況について
- ・アドバイザーによる講評 など
- ・意見交換等



◆ ちとから・まちづくりデザインの目的

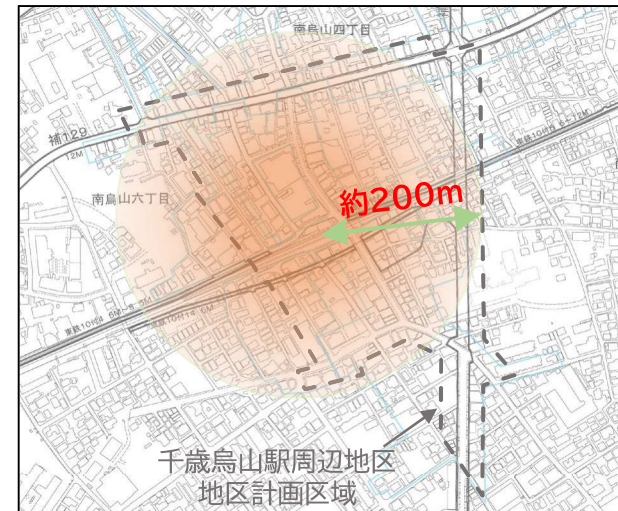
千歳烏山駅周辺は京王線連続立体交差事業や駅前広場事業等により、まちが大きく変わろうとする機会を捉えて、2021年（令和3年）6月に地区計画が策定され、同時に用途地域等の変更がなされました。

一方、駅周辺の5商店街で構成する商店街連合会では、街づくり委員会を置き、地区の特性を踏まえた目指すまちの姿を「ちとから・まちづくりデザイン」として、取りまとめました。今後は、このまちづくりデザインをもとに、行政や様々な主体と連携しながら「住む人にとって、商売を営む人にとって、まちを訪れる人」にとって安心して過ごせる魅力ある駅周辺のまちづくりに取り組んでいきます。

■ 駅周辺で事業中の都市計画



■ 取組み区域(概念図)



◆ まちづくりの取組みイメージ

千歳烏山駅周辺のまちづくり

【世田谷区】
個別のまちづくり計画等
◆千歳烏山駅周辺地区地区計画
◆千歳烏山駅周辺地域地区街づくり計画

【商店街】
ちとから・まちづくり
デザイン

【住民】
【町会・自治会】
【事業者】【NPO】等

世田谷区と連携しながら、地元住民、町会・自治会、事業者、NPO団体等、様々な主体とも一緒にまちづくりに取り組んでいきます。

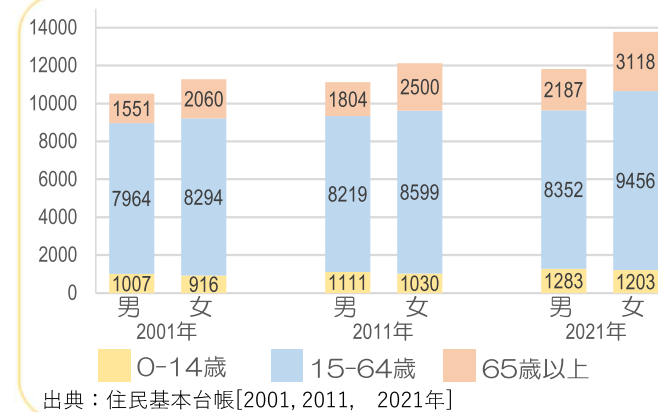


◆ 地区の現況

千歳烏山駅周辺地区は、2021年にかけて人口は増加しており、年齢男女別人口では特に女性の増加が顕著となっています。また、世帯構成の傾向として駅前周辺は単身者の増加、広域圏ではマンションなどの開発に伴いファミリー世帯が増加しています。

一方で近年の駅周辺の小売業の売場面積及び年間販売額は、大幅に減少しています。現況分析から、子連れや高齢者など様々な世代にあわせた新たな取り組み必要と考えます。

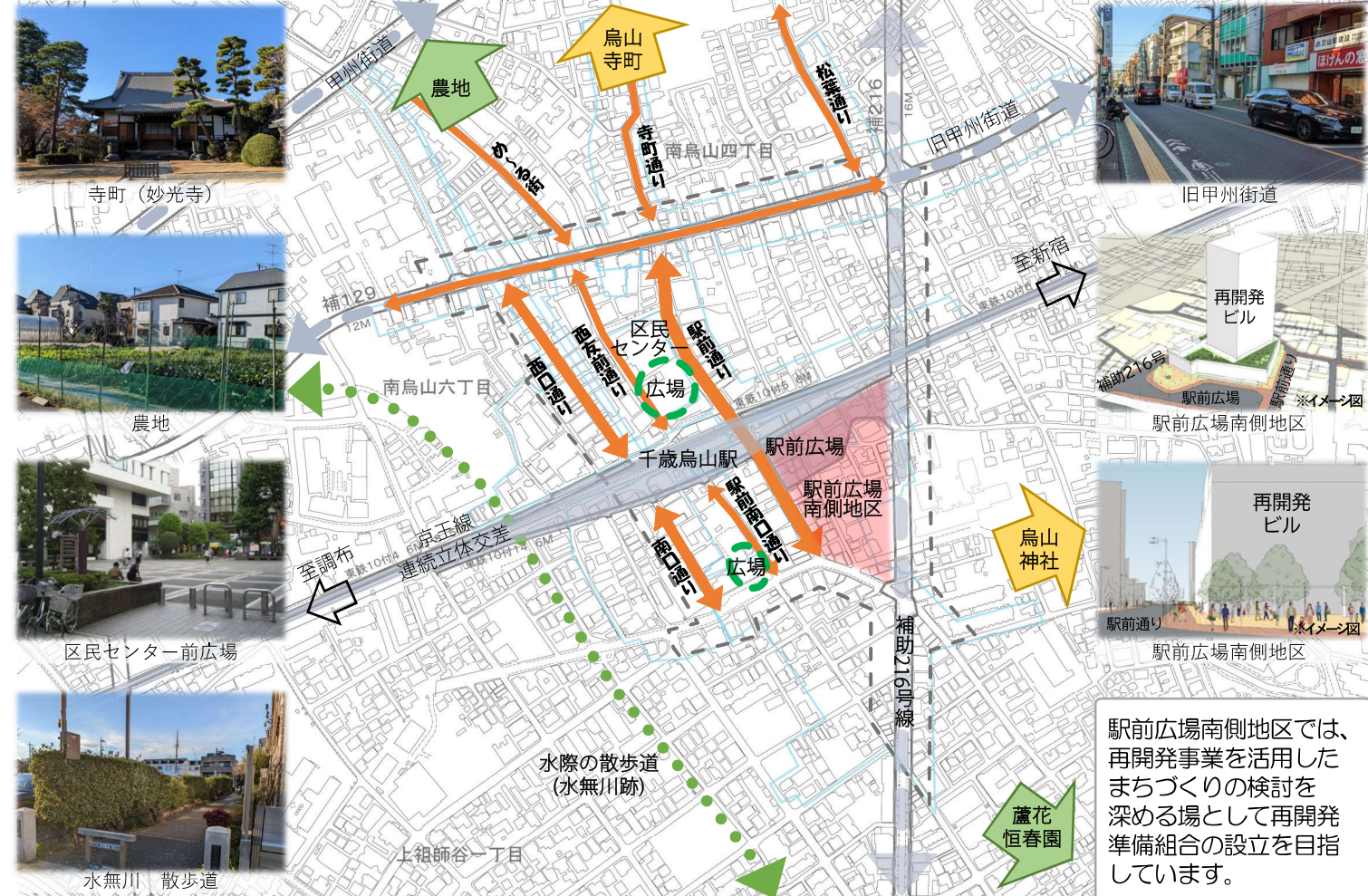
■ 年齢男女別人口 (南烏山2・4～6丁目、北烏山6・9丁目、上祖師谷1丁目)



■ 地元の声

- ・商店街は人が多く、活気がある
- ・楽しく買い物ができる回遊性のある商店街がほしい
- ・歩道上駐輪を整理し、歩きやすくしてほしい
- ・ベビーカーでも買い物がしやすくしてほしい
- ・くつろぎ空間や休憩スペースがあると良い
- ・話題のお店やおしゃれなお店がほしい
- ・子供とゆっくりできる飲食店がほしい
- ・駅周辺に駐車場がほしい

■ 駅周辺のまちの現状



駅前広場南側地区では、再開発事業を活用したまちづくりの検討を深める場として再開発準備組合の設立を目指しています。

居心地の良い活気に満ちたまち『ちとせからすやま』

住む人 商売を営む人 まちを訪れる人
誰もが 安心して 過ごせる 魅力あるまち

◆ まちづくりの方針

方針1

歩いて楽しく、ゆったい過ごせるまち

戦略1

- ・ 歩いて楽しくブラブラ回遊したくなるまちづくり
- ・ 安心して歩ける歩道のある街並みづくり
- ・ 誰もが利用できるゆったり過ごせる空間づくり
- ・ ユニバーサルデザインのやさしいまちづくり

アクションプラン(視点)

南北の行き来を円滑にする歩行者空間整備 /
道路空間の広場化、オープンカフェ等(ウォークابل) /
高架下利用の促進 / 交流拠点の創出 / 無電柱化 /
ユニバーサルデザイン(段差解消、サイン計画等)



道路占用・使用



ウォークابل、無電柱化

方針2

にぎわい、憩う魅力的なまち

戦略2

- ・ 駅周辺の商店街が連携したにぎわいづくり
- ・ 自転車と共存した魅力ある商店街づくり
- ・ ちょっとした憩いの場、遊び場のある街
- ・ 魅力的な店舗や烏山区民センター広場を活用したにぎわいづくり
- ・ 情報発信によるまちの魅力向上

アクションプラン(視点)

イベント開催(マルシェ等) / 商店街組織の強化 /
対面販売の充実 / コンシェルジュサービス / ベンチの設置 /
自転車や店前空間のルール作成 / 不動産業者とタイアップ /
情報発信(マップ作成、SNSの活用等)



イベント開催(マルシェ等)



自転車ルール

方針3

多様なライフスタイルに応えた
安全安心なまち

戦略3

- ・ 商店街や地域の人々で支えあうまちづくり
- ・ 多様なライフスタイルに適した環境づくり
- ・ ふれあい、交流のある場づくり
- ・ 周辺の観光資源を活用したまちの魅力の向上
- ・ 災害に強く、安全に過ごせる空間づくり

アクションプラン(視点)

地域コミュニティの活性化 / 学生との連携 / 地産地消 /
食品ロスの削減 / 地域資源ツアー / 観光イベント /
多様なライフスタイルを支える機能の充実(保育、福祉等) /
建物の耐震化 / 避難場所の確保



地域資源ツアー



ライフスタイルを支える機能(子ども食堂)

◆ 今後の取組みに向けて

街づくり委員会では、千歳烏山の特性を活かしながら「ちとから・まちづくりデザイン」の実現に向けて具体的な活動を行うため、まちづくりの方針で示したアクションプランの視点を踏まえて活動の計画を検討し、安全で活気ある魅力的な次世代に繋げる取り組みを行っていきます。

◆ 活動フロー

ちとから・まちづくりデザインで示す
アクションプランの項目を踏まえて、
商店街で実施する活動計画を検討する

商店街で実施する
アクションプランの年次計画を
作成し、取り組みを開始する
(委員会・各分会)

千歳烏山商店街連合会 街づくり委員会ニュース

Vol.1

「街づくり委員会」の活動を報告します！

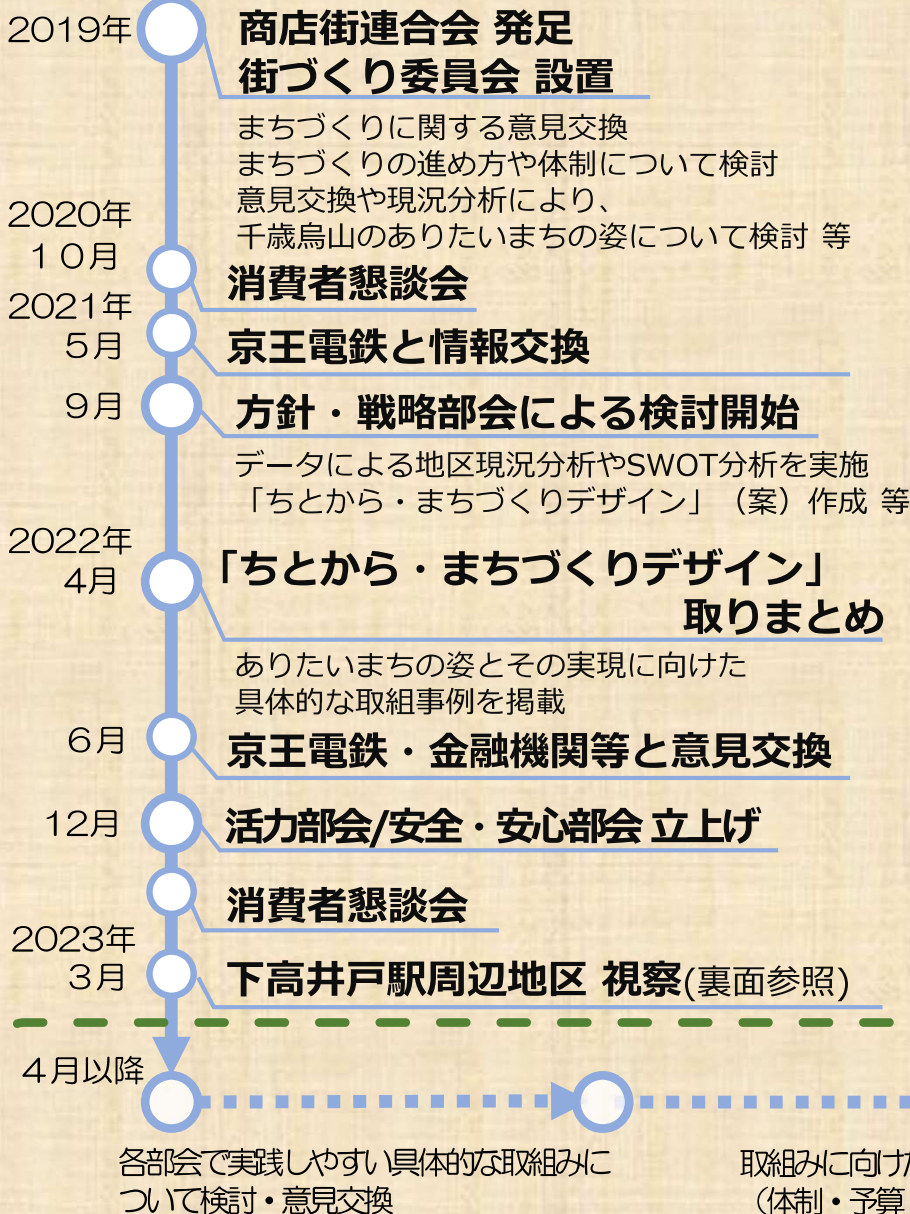
京王線の高架化事業や駅前広場整備事業等により、街が大きく変わる機会を捉え、千歳烏山商店街連合会では、世田谷区と連携しながらまちづくりに取り組むため、「街づくり委員会」を設置し、2022年4月には「ちとから・まちづくりデザイン」として、地区の特性を踏まえたありたいまちの姿を取りまとめました。

今後は、居心地の良い魅力と活気に満ちたまちの実現に向けた具体的な取組みについて、2022年12月に立ち上げた「活力部会」及び「安全・安心部会」を中心に検討してまいります。

皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

街づくり委員会委員長 内藤 昌彦

～これまでの活動～



「ちとから・まちづくりデザイン」



街づくり委員会 開催の様子



今後の予定

2024年

下高井戸駅周辺地区のまちづくり視察（2023年3月3日）

下高井戸駅周辺地区では、京王線の高架化事業に伴い、平成18年の街づくり協議会設立から、まちづくり懇談会や勉強会等、長年に渡ってまちづくり活動を行っています。

こうしたまちづくりの取組みについて意見交換を行い、オープンハウスではパネルや模型等を使って協議会の活動を紹介して頂きました。千歳烏山においても下高井戸駅周辺地区を参考に、今後のまちづくり活動を行ってまいります。



意見交換の様子

～～意見交換の概要～～

Q:しもたかブックは、どのような主旨でつくられたのか。

A:しもたかブックは行政計画ではなく、街づくり協議会において地域住民や商店街等の方々と「こんなことができたらいいな」という姿を意見交換して、まとめている。

Q:このようなまちづくり活動を主体的に行っていることに興味した。

A:商売人や住人が自らの力で検討を進めている。特に企画チームはイベント企画から運営まで忙しく活動していることが多い。

Q:継続的なまちづくりの取組みのコツを教えてください。

A:皆が一生涯懸命にまちづくり活動に参加してくれているからだと思う。また、理事には若い人が多く、頑張ってくれている。



活動報告会（オープンハウス）の様子

京王線の高架化事業で大きく変化するまちの機会を捉え、街づくり委員会ではちとから・まちづくりデザインの実現に向けて活動して参ります。

まちづくり活動に興味のある方は、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先

TEL:03-3300-0181 千歳烏山商店街連合会 事務局 田中 省一

2024年2月
千歳烏山商店街連合会
**街づくり委員会
ニュース**
vol.2

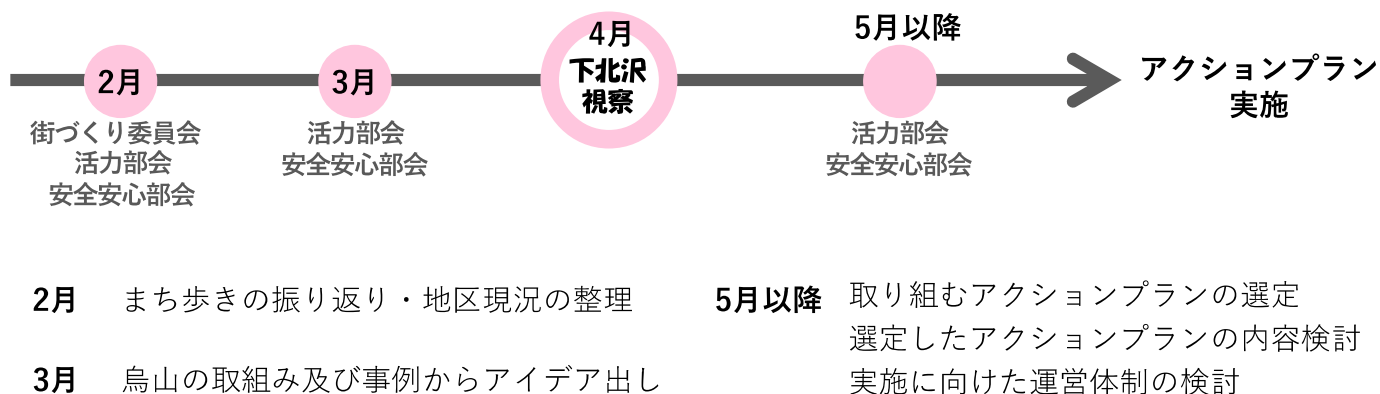
日女体学生とまちを歩き、 意見交換を行いました！

街づくり委員会では、昨年の11月30日（木）に日本女子体育大学の学生4名を含む計13名で、千歳烏山駅周辺においてまち歩きを実施し、良い点や気づいた点等の現況を点検するとともに、意見交換を行いました。当日出された参加者の意見は裏面にまとめておりますので、ご覧ください。

今後は頂いた意見も参考にし、「活力部会」「安全・安心部会」でまちづくりの新たな取組み（アクションプラン）を検討して、実施していきます。また、先行事例地区として下北沢視察も実施する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

街づくり委員会委員長 内藤 昌彦

今後のスケジュール



主な意見

自転車マナー

- ・路上駐輪が多いため、歩道が狭くなっている
- ・電動アシスト付き自転車の急加速が危険

ベンチ

- ・シミズヤ、ライフの横にベンチがあり良かった
- ・駅前の待合せ用等のベンチがあると良い

ユニバーサルデザイン

- ・段差が多く、障がい者の方が歩きにくい
- ・路上のサインが色あせていて分かりにくい
- ・道路の誘導ブロックが無いところがあった

区民センター広場

- ・利用度も高く、良い空間になっている

その他

- ・新築の建物が壁面後退をしており、歩行しやすい空間になっていた
- ・荷捌き等で路上駐車している車があり危険
- ・ポイ捨ては少ない印象だったが、朝はゴミが多い



ベンチ



走行マナー



路上駐輪



シェアサイクル

学生からの意見

情報発信

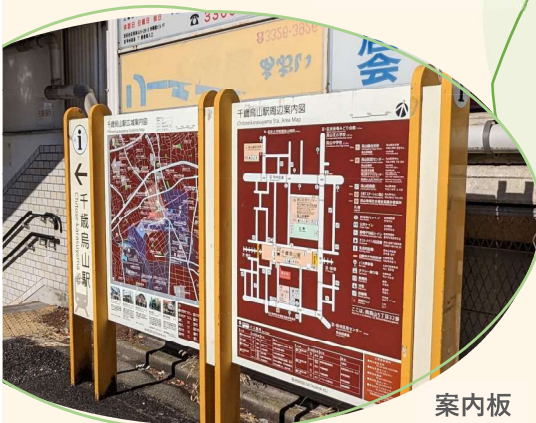
- ・魅力的な個店が多いのに知らない店が多い。また、情報が行き届くように飲食店マップ等があると良い
- ・日女体のSNS委員と協力して情報発信するのも良いのではないかな
- ・学生は掲示板をあまり見ないが、駅等にあれば見ると思う

自転車

- ・学校に戻るのに便利なシェアサイクルの設置を増やして欲しい
- ・買い物客用や無料の駐輪場があると良い

街に欲しい機能

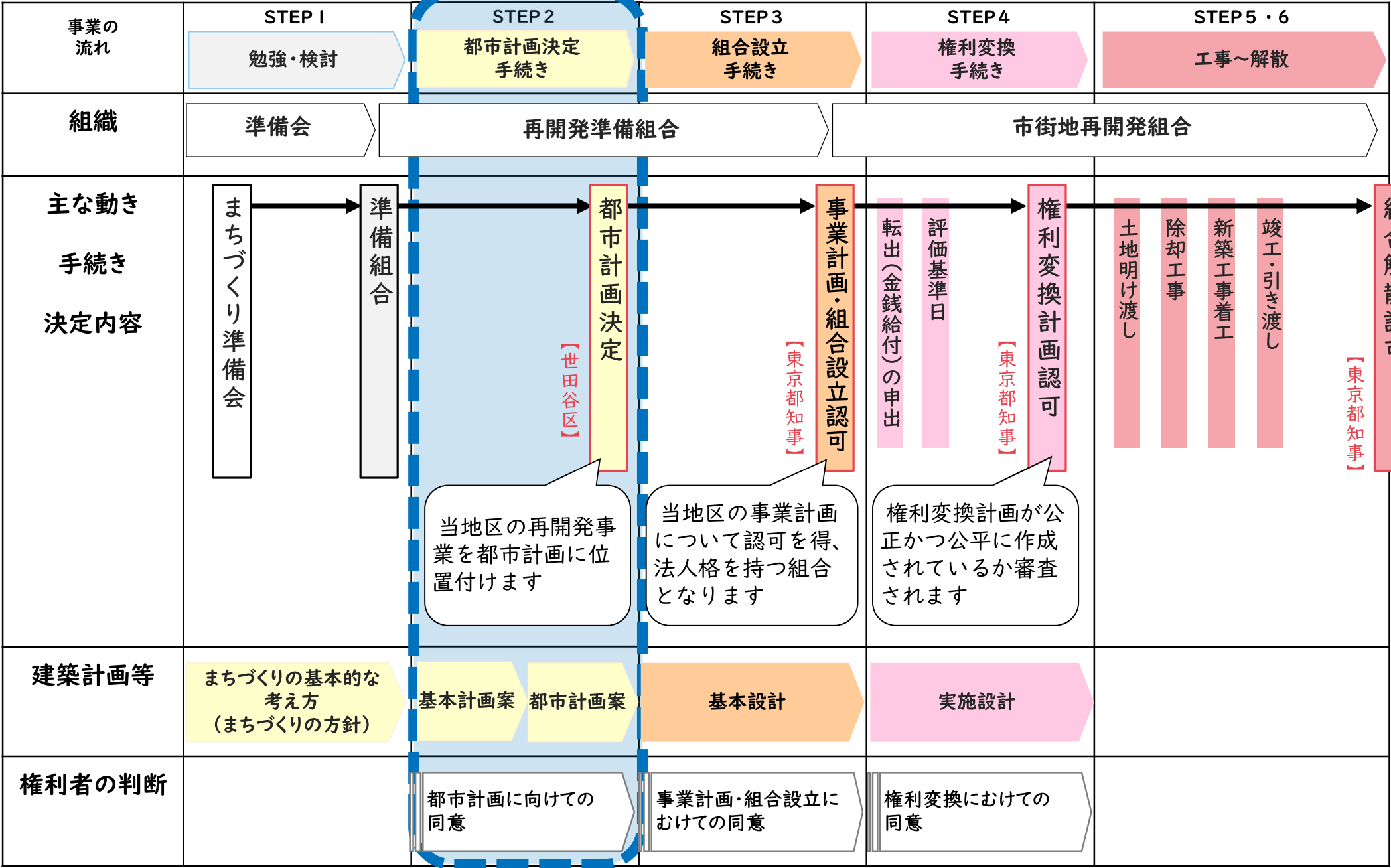
- ・ファーストフード店、ファミレス等の手軽にゆっくりできる飲食店があると良い
- ・GUやユニクロ等のお店が欲しい
- ・病院やドラッグストア、クリニック等が多くて良い
- ・24時間利用できるレンタルスタジオが欲しい



案内板

街づくり委員会では、2022年4月に千歳烏山駅周辺の目指すまちの姿を「ちとから・まちづくりデザイン」として取りまとめ、その後下高井戸のまちづくり視察等を行ってまいりました。今般、活動の一環として実施したまち歩きでは、学生の意見を聞くことができ、今後の取組みの参考となりました。

京王線高架化等、街が大きく変わるこの機会を捉え、商店街として取り組める身近なまちづくり活動をさらに推進してまいりたいと考えております。



- ・地区の現況を踏まえ、まちの玄関口となる駅前広場の整備と地域課題解決に向けた都市機能の集約による拠点形成を目指しています

<当地区の現況>



<まちづくりの方針>

- 駅周辺の取り組みと連携したまちづくり -



※再開発事業を活用したまちづくりの基本的な考え方

(千歳烏山駅前広場南側地区まちづくり準備会・令和4年5月)を元に作成

<動線計画と壁面後退の考え方>



商店街に面した顔づくり

- ・ 周辺商店街との賑わいの連続
- ・ 歩道と一体となった歩行者空間
- ・ 街に開けた商業施設

【賑わい空間のイメージ】



補助216号線の歩行者環境の向上

- ・ 歩行者空間と緑地帯

【歩行者空間と緑地帯のイメージ】



バス通り沿いの歩行者の安全性確保

- ・ 歩車分離された安心して歩ける歩行空間

【歩道状空地(幅員4m)のイメージ】



<広場の考え方>

緑豊かな「南広場」

- 交差点及び住宅地との結節点となる広場としてみどり豊かな空間を創出

【緑豊かな広場空間のイメージ】



交通結節点となる
駅前広場

北広場

商業

住宅等

南広場

都市計画道路整備による新たな歩行者・自動車動線

賑わいのある「北広場」

- 店舗と一体となった賑わい空間
- 駅前広場と一体的な滞留空間

【賑わいある広場空間のイメージ】



【イベント活用時のイメージ】



▲ … 出入口

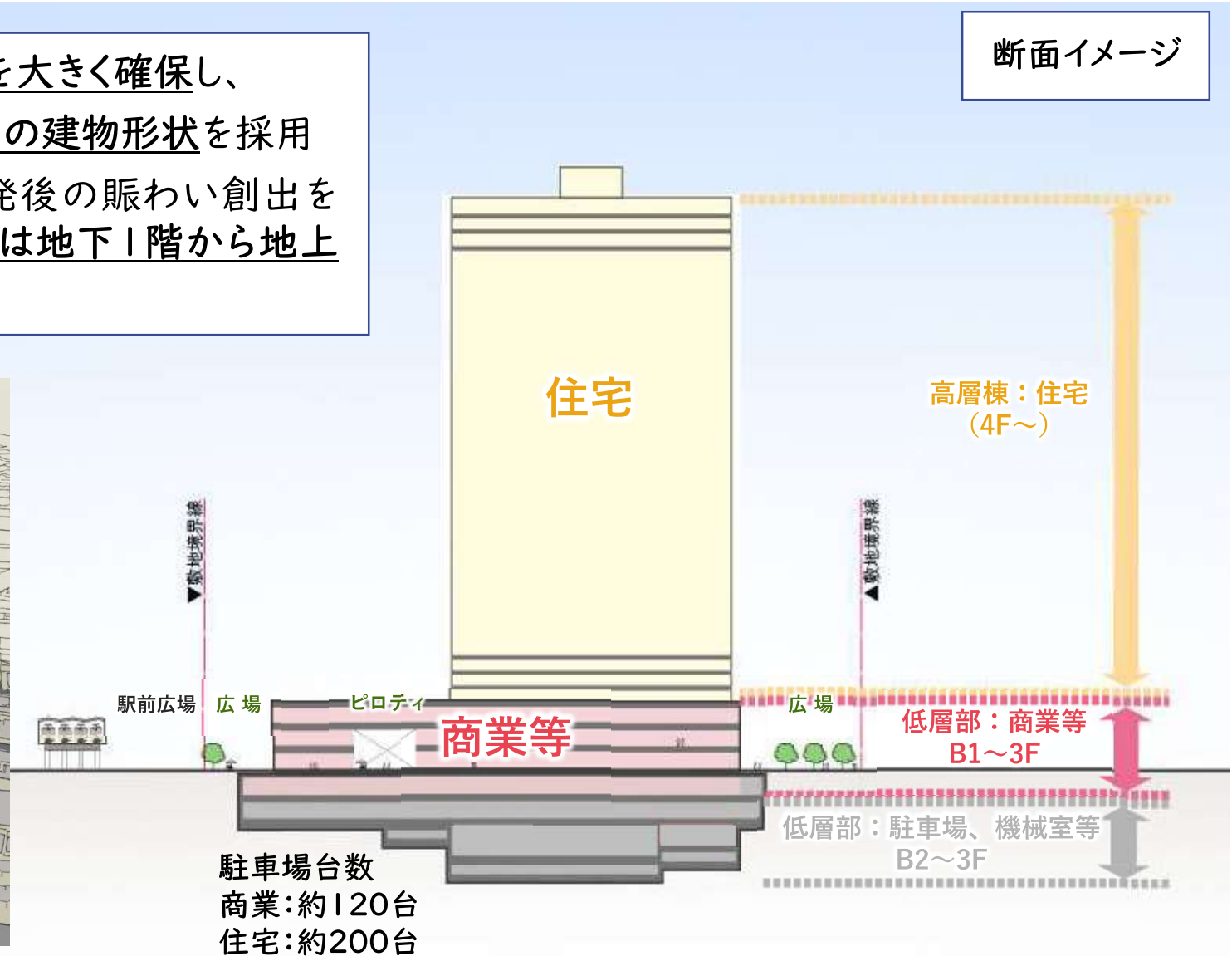
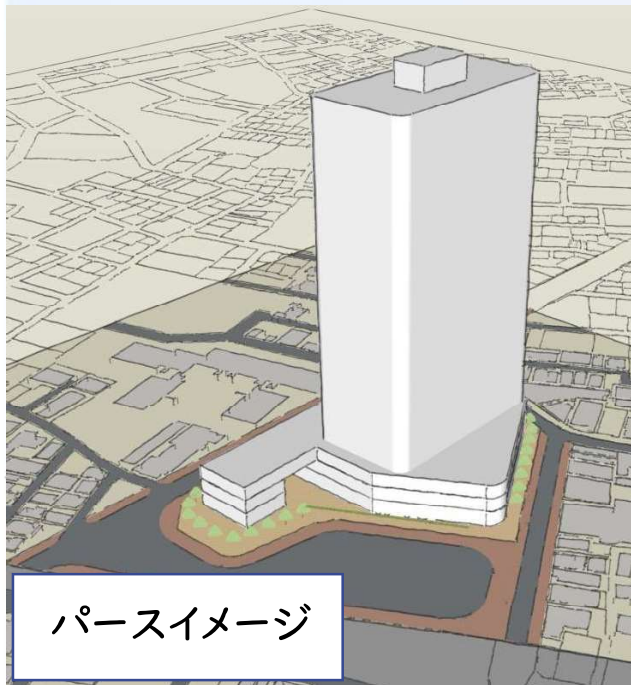


0M 10M 20M 40M 70M

<用途構成の考え方>

低層を商業等、高層を住宅とし、高層部分をセットバックするプランを検討しています。

- 低層部の商業等は面積を大きく確保し、
高層部の住宅はタワー型の建物形状を採用
- 現在の地区の状況・開発後の賑わい創出を考慮し、低層部の商業等は地下1階から地上3階と設定



千歳烏山駅前広場南側地区

準備組合
ニュース

創刊号
2023年1月

発行・編集：千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発準備組合

千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発準備組合を 設立しました！



～ ごあいさつ ～

新年あけましておめでとうございます。

駅前広場南側地区では、まちづくり準備会での取り組みを踏まえ、2022年12月20日に再開発準備組合を設立し、理事長に就任いたしました。理事・監事が一致団結し、南側地区の皆様のご理解とご協力を得ながら、この再開発準備組合の活動を前進させていきたいと決心を新たにしているところです。

今後は、事業協力者の募集をかけ、選定を進めてまいります。準備組合の活動については、ニュース等でお知らせいたします。

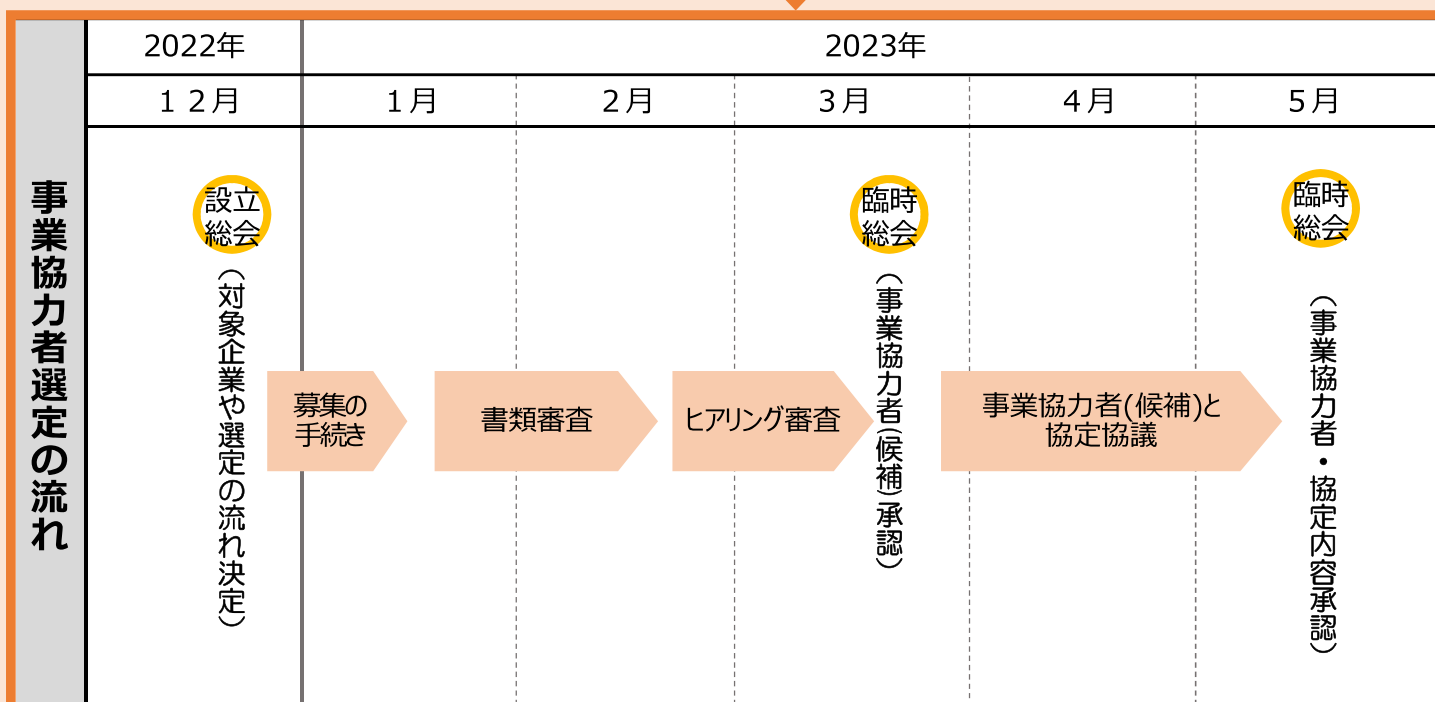
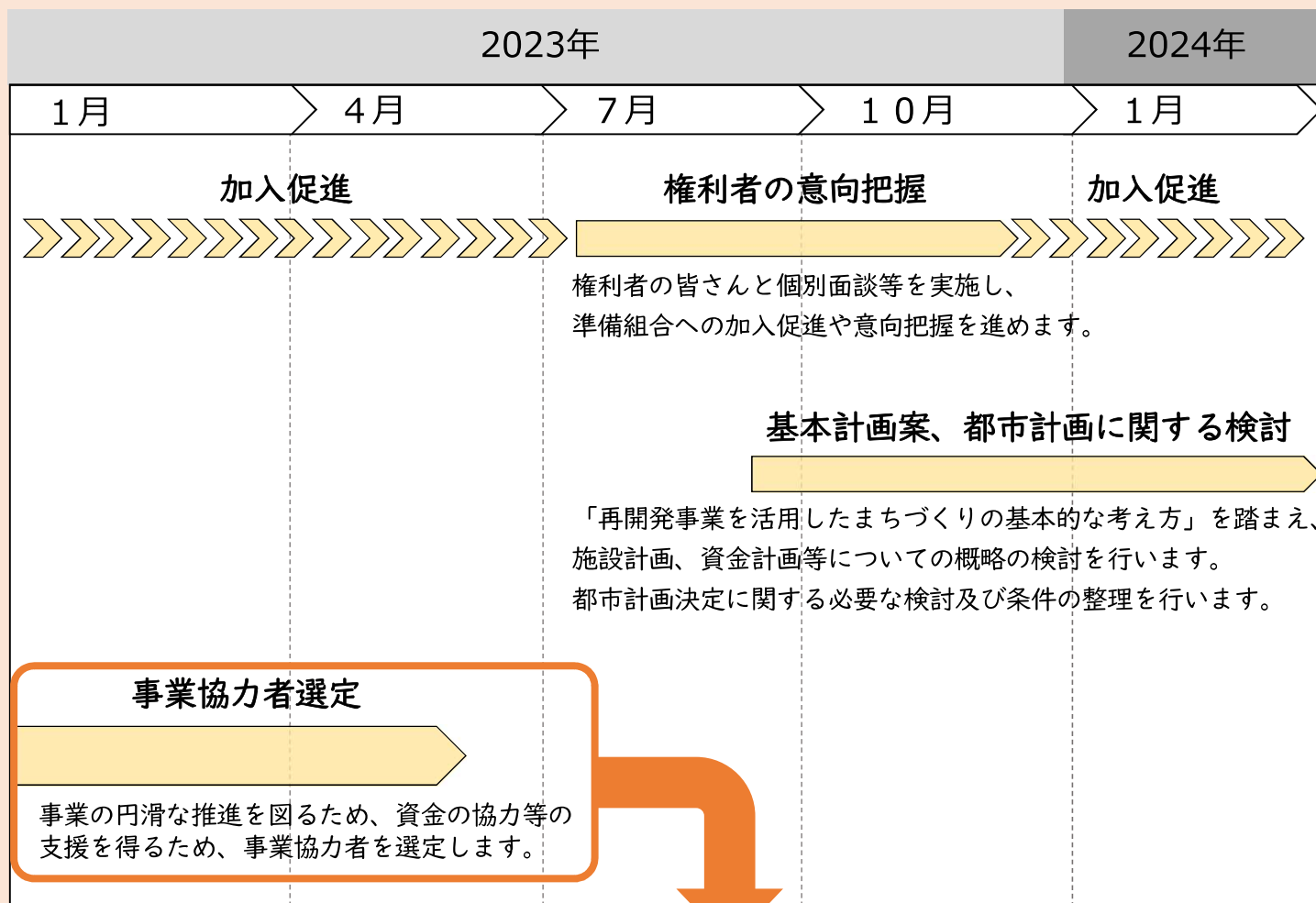
より魅力的なまちづくりを鋭意進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



理事長 栗山 和久

～住む人、商売を営む人、皆様が笑顔になるまちづくりを目指します～

当面の活動について



事業協力者が選定されるまでの間は、下記にお問合せください。

【お問合せ先】

株式会社タカハ都市科学研究所

なかい まきやま
担当：仲井・牧山

T E L : 03-5733-0343

ご意見やご質問等がございましたら、
お気軽にご連絡ください。

千歳烏山駅前広場南側地区

準備組合
ニュース

2024年8月



発行・編集：千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発準備組合

からすやま夏まつり2024にて 今年もまちづくりブースを出展しました！

2024年8月2日と3日に開催された「からすやま夏まつり2024」において、準備組合主催のまちづくりブースを出展いたしました。まちづくりブースでは、街づくりに関するアンケートを実施し、お立ち寄りいただいた402名の方々に様々な貴重なご意見をいただきました。今後の取組み（まちづくり）に活かしていきたいと考えております。



＜イベントの様子①＞



＜イベントの様子②＞

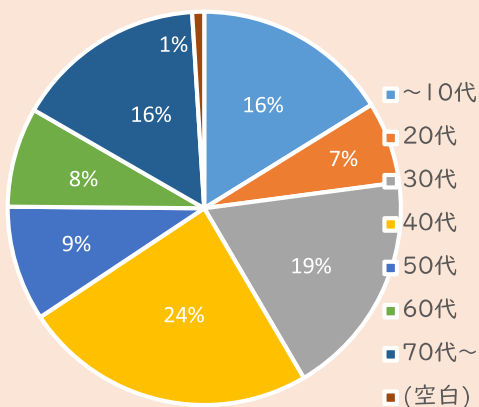
アンケート集計結果について

アンケート集計結果の一部をご紹介します。

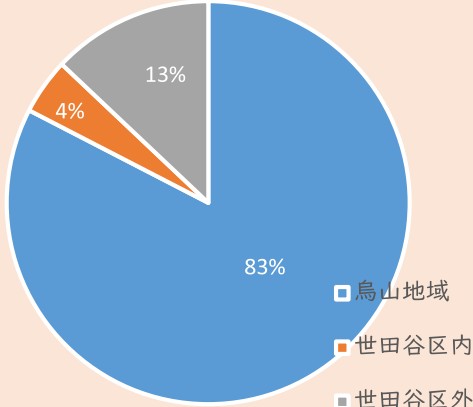
準備組合の活動の認知度の「知っていた」と「何となく」は、昨年対比で+12%向上しました！

【アンケート集計結果（一部）】

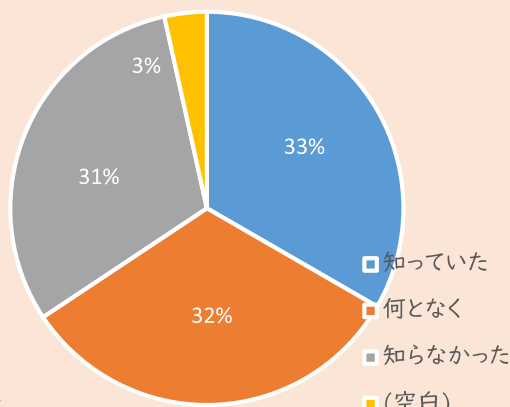
＜年代＞



＜お住まい＞



＜準備組合の活動の認知度＞



アンケート集計結果について（続き）

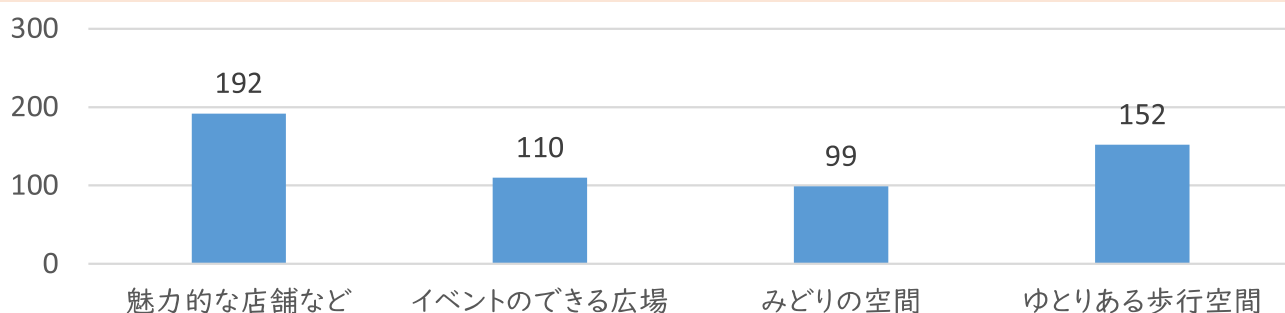
■まちづくりに関するご意見（自由記述）

- ・賑わいを残しながら、新たなものも取り込んでほしい、楽しみにしている
- ・子供が遊べる広場や大人がゆっくり休める空間を作してほしい
- ・路上駐輪が減るように、自転車置き場を増やしてほしい
- ・安心して歩ける道にしてほしい
- ・家族で行けるファミリーレストランや本屋がほしい



烏山地域キャラクター
「からびょん」

■駅前広場南側地区での街づくりに期待すること（選択制・複数回答可）



第2回勉強会を開催します

2024年9月11日（水）に「第2回勉強会」を開催いたします。今回は、皆様のご意見等も踏まえて取りまとめた基本計画案について、ご説明をさせていただく予定です。再開発事業および都市計画に関する理解を深めていただける機会となりますので、是非ご参加ください。

【日 程】2024年9月11日（水）

【時 間】18時開始（開場17時45分）

【場 所】烏山区民会館3階 集会室

【対象者】地区内の権利者
（準備組合未加入の方も対象）

【内 容】・基本計画案について
・市街地再開発事業の仕組みについて



<会場案内図>

～住む人、商売を営む人、皆様が笑顔になるまちづくりを目指します～

【お問い合わせ先】

千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発準備組合 事務局

担当：山本・井上（三井不動産レジデンシャル株式会社）

住所：東京都世田谷区南烏山6-4-26 烏山第2倉林ビル 303

電話番号：03-5384-7222 FAX：03-5384-8033

Email：chitokaraminami@kumiai5.com

【組合事務所 営業日時】

営業日：月曜日から金曜日

営業時間：13時～16時

※外出等で不在にしている場合もございます。

ご意見やご質問等がございましたら、
お気軽にご連絡ください。